

授業科目 現代社会論

【担当教員名】 原敏明	対象学年	1	対象学科	全科共通
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要及び学習目標】

概要

「クールにネットワーク、ホットにフットワーク」がスローガン。液晶プロジェクターを使用し、チーム討議も行う。現代日本社会は、高齢化、少子化、情報化、国際化、サービス経済化、福祉サービスを含めての民営化など、あらゆる側面の変化が進行している。

世界の動向を念頭に置きながら、日本社会における社会変化の特徴と問題点を、健康と福祉の視点から、掘り下げていきたい。

国際ヴォランティア活動にも参加を期待する。

学習目標

実社会において情報時代に対応できる福祉・健康分野の人材育成の一側面を分担する。

インターネットにより厚生労働省のホームページにアクセスし、諸統計を活用できる技術を習得。

チーム討議の習得

短文を毎回書くことで文書報告の習得

以上の手法を習得しつつ現代社会を観る目を養う。

回数	学 習 の 主 題	学 習 内 容	学習方法
1	イントロダクション 戦後の日本社会	映像による米国大学授業事例、映像による入社試験面接評価方法、五誠、チーム編成	講義
2	2つのコスモス	2つのコスモス観と生命	講義
3	少子化高齢化と福祉	少子化高齢化と年金制度介護保険制度、介護サービスの映像による評価、バリアフリーやユニバーサル・デザインの新潟県企業の事例	講義
4	高齢化と医療	高齢化にともなう年金や各種負担	講義
5	高齢化と米国の福祉・医療	高齢化と米国の福祉・医療の実情	講義
6	国際化と社会①	繊維産業の場合	講義
7	国際化と社会②	自動車産業の場合	講義
8	情報化と社会	コンピュータ、パソコン、携帯通信端末	講義
9	サービス化と社会	ゲーム業界、医療など	講義
10	民営化と企業経営①	事例研究	講義と演習
11	民営化と企業経営②	事例研究	講義と演習
12	民営化と企業経営③	事例研究	講義と演習
13	リーダーシップ	事例研究	講義
14	リーダーシップ	事例研究	講義と演習
15	最終レポート作成		演習

【評価方法】

①講義参加率（出席し、チーム討議に参加し、意見書提出で「講義参加」とみなす）と提出文の内容

②レポート提出

期末のペーパーテストは行わない。

【履修上の留意点】

初日は自由だが、2回目以降は1回目の席を固定席とし（若干の変更もある）、チーム討論が出来る班体制にする。

講義5分前までには教室に入り、班のメンバーを始め教室の皆に挨拶し、受講の準備を整えること。

出席と講義参加を重視する。

【使用図書】

教科書・参考書別	書 名	著 者 名	発 行 所	発行年・価格・その他
教科書	使用しない			
推薦図書	白い航跡（上、下）	吉村 昭	講談社文庫	1994年・514円×2
	医療・保険・福祉 改革のヒント	水野 肇	中公新書	1997年・600円
	『ホスピス』という名の選択	野木 裕子	新潮OH!文庫	2000年・486円
	脳死と臓器移植法	中島 みち	文春新書	2000年・680円
	IT医療革命	丹羽 幸一	東洋経済新	2000年・1600円
	他を講義の中で紹介し購読を推奨する			